

月刊鹿沼 12月号

新そばの季節です。12月1・2日に開催する「そば天国」では、「はとむぎ」「こんにやく」そしてなんと「マカ」を練りこんだ3種のそばが登場するとか!?! 一体どんな味になるのでしょうか? さて今月も栃木県鹿沼市から、ちょっと先取り地域のお話をお知らせします。

今日の目玉! 「いちご狩り」ならやっぱり本場の いちご王国いちご市へ!

冬のアクティビティといえば「いちご狩り」。
そして「いちご」といえば「いちご王国」栃木県の「いちご市」鹿沼市です!



生産量50年連続全国一の栃木県の中でも、その品質は格別!と名高い「いちご市」鹿沼。市内のいちご農家では丹精込めたいちごがもう出荷され始めています。

そしていよいよ年明け早々からは、いちご摘み取り園が続々とオープン。代表品種「とちおとめ」はもちろん、「女峰」や栃木県内の摘み取り園や直売所でしか食べられない「とちひめ」にも出会えます。この「とちひめ」、大粒で酸味が少なく、甘味が強いので、根強いファンも多い幻のいちご。果肉が柔らかく、あまりにジューシーなので、市場に出回らないのだとか。より大粒で高級ブランドとして販売されている「スカイベリー」は、美味しさだけではなく、その赤さと美しい形がまるで赤い宝石のよう。摘み取りでフレッシュなうちに頬張れば、甘味と芳しい香りに包まれます。

鹿沼市花木センター観光いちご園 (予約優先)

「とちおとめ」「とちひめ」が30分食べ放題。バリアフリーにも対応しています。

開園日: 1月5日

アクセス: 鹿沼市茂呂 2086-1/0289-76-1000

出会の森いちご園 (予約優先)

「とちおとめ」または「スカイベリー」が30分食べ放題。「とちひめ」は販売のみ。バリアフリー。

開園日: 1月3日

アクセス: 鹿沼市酒野谷 929-1/0289-60-0175

ベリーズファン (予約優先)

「とちおとめ」「スカイベリー」「とちひめ」「女峰」をはじめ、いろんないちごを30分間食べ比べ。

開園日: 12月下旬

アクセス: 鹿沼市亀和田町 1109-1/050-3702-6421

わたなべいちご園 (予約不要/団体は要予約)

老舗のいちご園。今もファンが多い「女峰」が30分食べ放題。「とちひめ」の直売も。

開園日: 1月2日

アクセス: 鹿沼市見野 1102/0289-63-4809

<p>1 月 3 日</p>	<p>発光路の強飯式</p> <p>日光山輪王寺の日光責めの流れをくむ古典的な強飯（ごうはん）行事。国の重要無形民俗文化財にも指定されています。</p> <p>強飯行事とは、時をきめて人間界を訪れる神仏に人々が心をこめたご馳走を出してもてなす儀礼で、飯や芋、酒などを大量に「受け人」に強いるところから、強飯と呼ばれています。</p> <p>ここ発光路（ほっこうじ）の強力（ごうりき）は、日光山輪王寺のものと軌を一にする日光修験の名残を残す貴重なもの。正月 3 日、発光路地区の鎮守 妙見神社の神事と祭り当番引き継ぎの後、発光路公民館にてこの行事は行われます。山伏と強力が登場して、祭りの代表者や来賓客に高盛飯を強います。地元に残る口碑伝承では、室町時代の延文年間(1356 年～1361 年)から行われているといわれています。</p> <p>この行事ではユーモラスな口上も楽しみのひとつ。高盛り飯を強いるときの口上はこんな感じです。「酒なら三十三杯、湯が五杯、強飯七十五膳がお定まり。一粒一菜の許しはないぞ。」</p>	
<p>1 月 10 日</p>	<p>春渡祭（おたりや）</p> <p>火防祈願のほか、古いお札、お守り、熊手、破魔矢等を燃やし、無病息災を祈願します。</p> <p>午後 3 時ころ、今宮神社の境内にて古札焼納祭を執行した後、お札、お守り等に点火します。神楽殿では「太々神楽（だいだいかぐら）」が奉納されます。</p>	<p>会 場 今宮神社 (栃木県鹿沼市今宮町 1692)</p> <p>お問合せ まちの駅 新・鹿沼宿 0289-60-2507</p>
<p>1 月 26 日</p>	<p>北関東最大級の初市「花市」</p> <p>新春恒例の「花市（はないち）」が、鹿沼市の中心部、末広通りで開催されます。ダルマやお飾りなどの縁起物、福寿草・洋ランなどの植木、食べ物など関東一円から集まる露天商約 500 店が約 1.5 km にわたり軒を連ねる関東でも有数の花市です。例年、約 12 万人の縁起物を買求める家族連れなどで賑わいます。</p> <p>この花市、以前は今宮神社の境内において正月 12 日に初買日として開かれる「初市」でした。今宮神社の拝殿に市神社が安置され、一年の商売繁盛・家内安全・健康宿願を祈願したそうです。</p> <p>年々市が盛んになるにつれ、境内だけでなく参道にまで露店が出るようになり、販売品も縁起物・植木・食物・雑貨などに変わってきました。そのため市の呼び名も「花市」といわれるようになり、開催場所を移しながら現在まで続いています。</p>	<p>会 場 末広通り (福田屋鹿沼店から鹿沼高校付近までの約 1.5Km)</p> <p>お問合せ まちの駅 新・鹿沼宿 0289-60-2507</p> 

【リリースに関してのお問い合わせ先】

鹿沼市総務部 **鹿沼営業戦略課シティプロモーション係** 担当：藤沼・木村

TEL : 0289-63-0154 (お！いちご市) / FAX : 0289-63-2292

MAIL : kanumaeigy@city.kanuma.lg.jp

URL : <http://www.city.kanuma.tochigi.jp> / <http://www.kanuma-kanko.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/kanuma.city.promotion>

